

# 朝酌川の現全体計画（1）

全体計画 (H6年認可)

計画規模: 1 / 50

流量算定法: 合理式

計画雨量: 78mm/60min

施工箇所:

朝酌川 L=3,660m

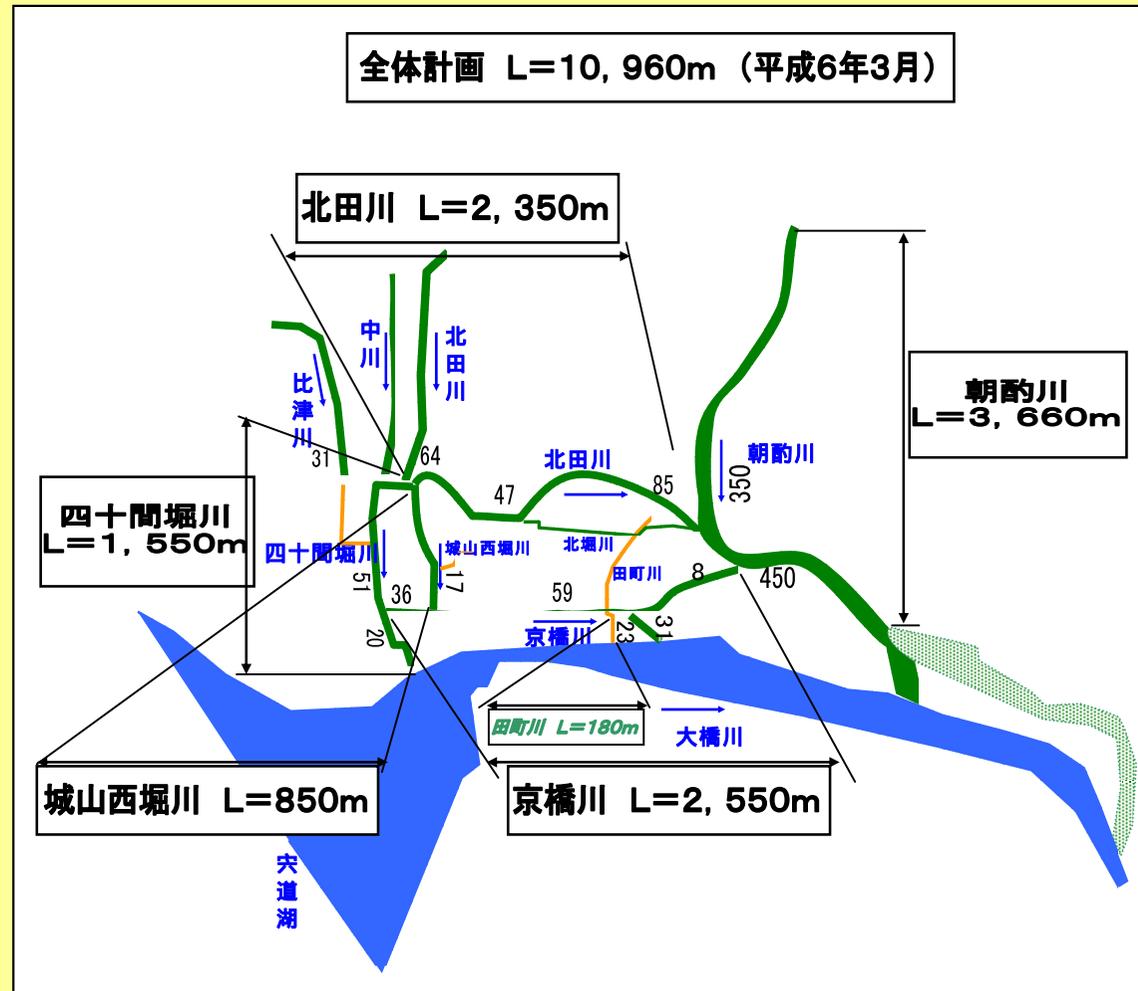
北田川 L=2,350m

京橋川 L=2,550m

四十間堀川 L=1,550m

城山西堀川 L= 850m

(田町川 L= 180m)



主な計画方針

1. 朝酌川本川については、百足橋地点より上流区間2,360m及び、下流区間(2-7区間)1,300mの3,660mを全体計画区間とする。なお、計画区間下流から大橋川合流点の取り扱いについては、大橋川改修計画(国)と調整する必要があり、今後決定する。
2. 通称「松江堀川」の主要区間については、全体計画対象河川とし、計画区間に取り込む。
3. 基準地点(百足橋)の計画高水流量は450m<sup>3</sup>/sとする。
4. 北田川、京橋川等、支川における計画高水流量の決定方法については、各河道を河川網として取り扱い、流出解析によって求めた支川流域のピーク流量を各河道に配分し、その配分流量をもって計画高水流量とする。

# 朝酌川の現全体計画（2）

## 支川流量配分計画

流量配分は、合理式でのピーク流量を各河道に与え、河川網の不等流計算を行い、分合流点水位が合致することを条件に決定した。

### <条件>

大橋川出発水位（大橋川平水位）

大橋川の平水位は、中海と宍道湖の平水位及び距離比により求める。  
( ):計算値

朝酌川ショートカット	合流点	0.50m (0.45m)
上追子川	合流点	0.52m (0.47m)
田町川	合流点	0.52m (0.47m)
四十間堀川	合流点	0.53m (0.48m)

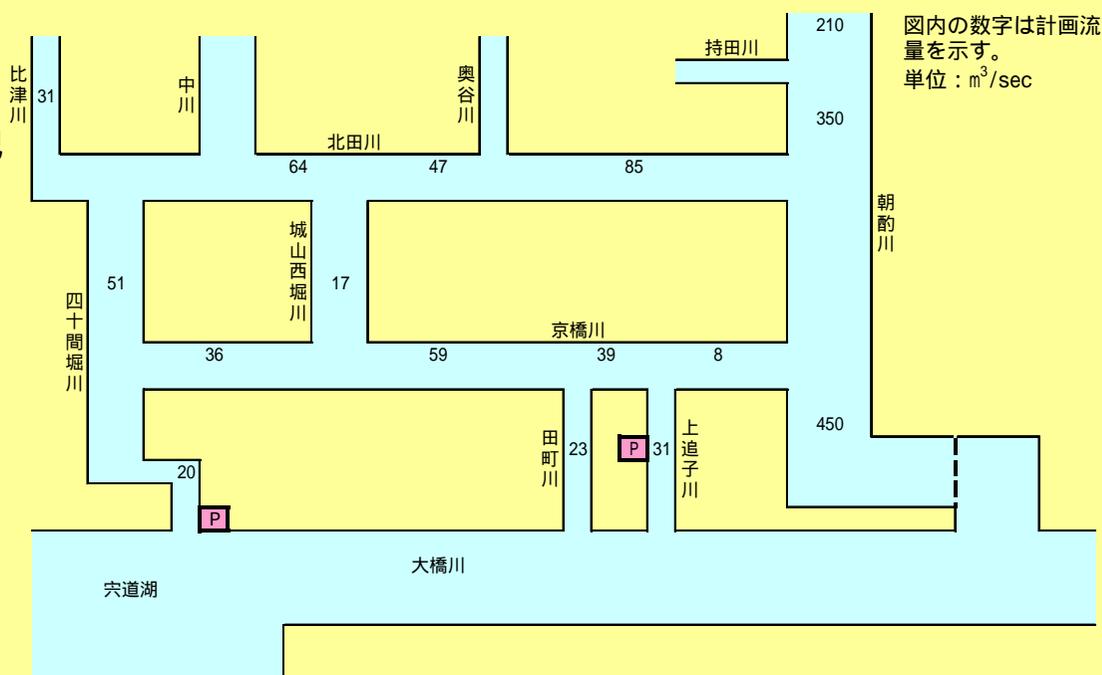
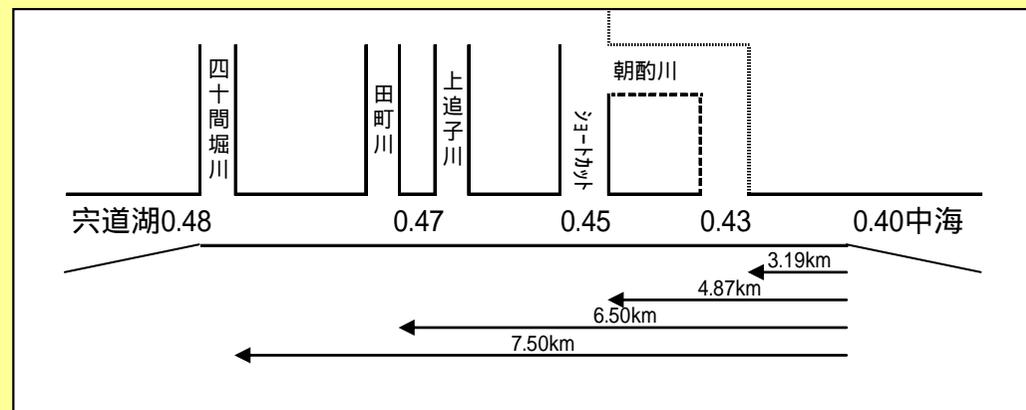
中海と宍道湖の平水位は『斐伊川水系工実参考資料』に記載された初期水位を使用。

### 河道条件

市内河川における最高水位が、黒田地点でほぼ家屋敷高とみなせる水位T.P+1.5m以下になる河道を計画する。

朝酌川	現行の中小河川改修事業 (合流点河床高T.P=-5.0m)
北田川	現行の中小河川改修事業
その他	上記条件を満足する断面

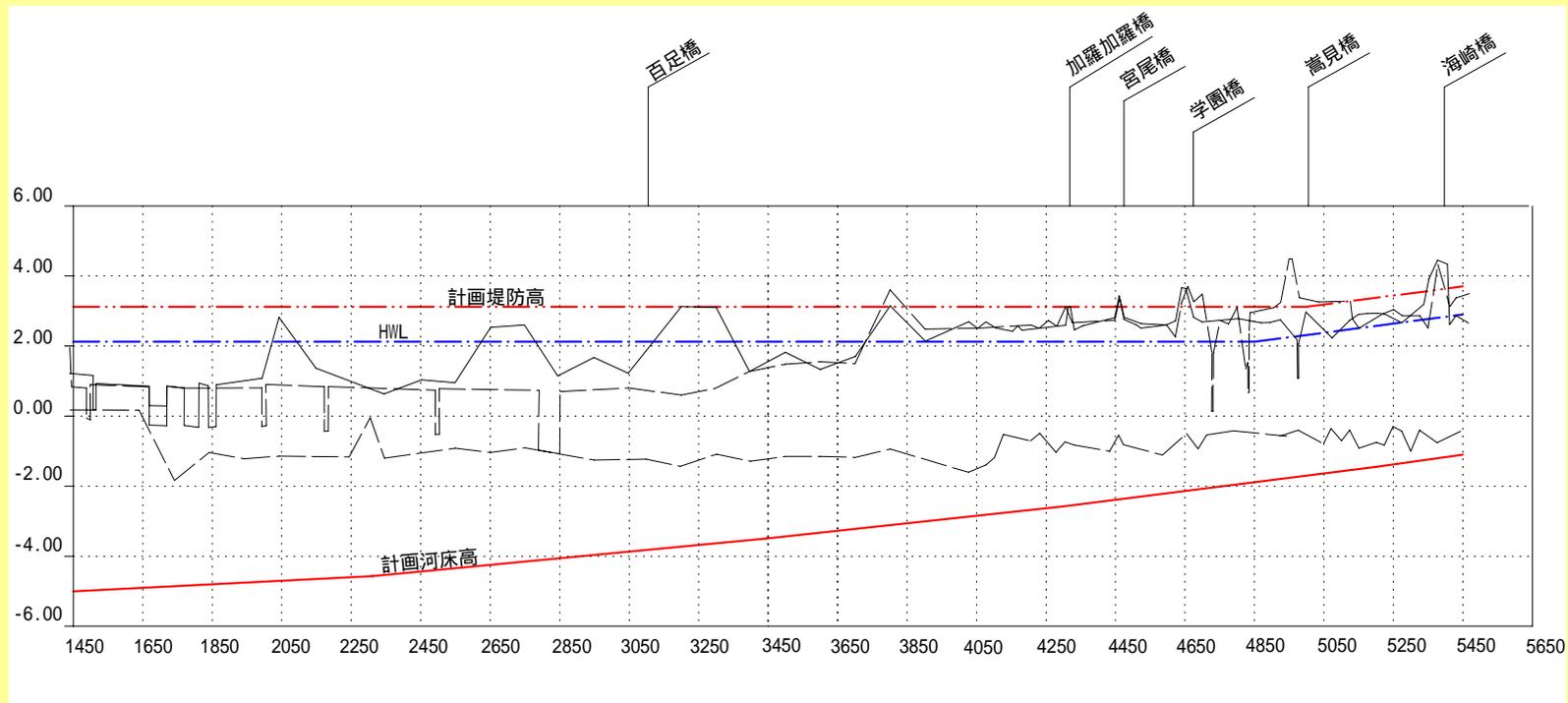
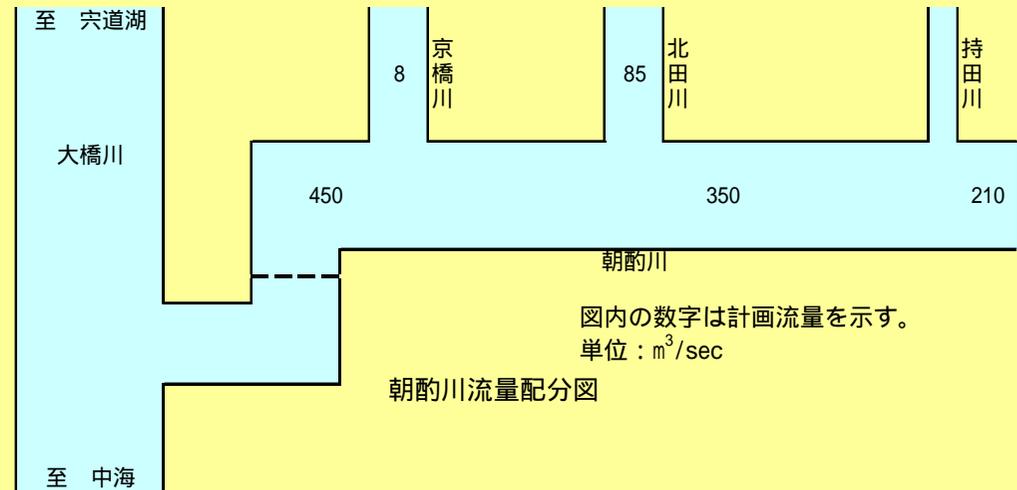
以上の結果、流量配分を以下のとおり決定した。



# 朝酌川 ( 1 )

## 朝酌川の計画方針

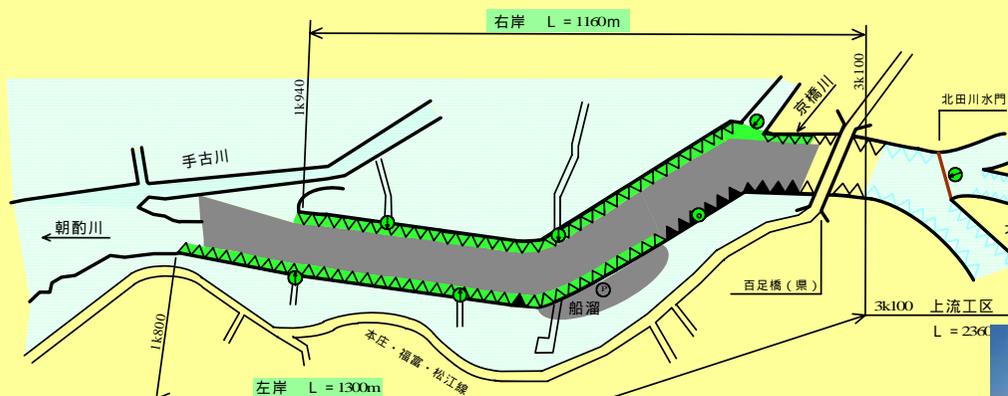
1. 計画河床高：大橋川改修計画に基づいて大橋川合流点での河床高をT.P=-5.0mとする。
2. 計画高水位：自己流の出発水位を大橋川合流点でT.P.=+0.5mとし、大橋川の背水位を本川計画水位T.P.=+2.12mとする。
3. 築堤高：大橋川の背水影響区間は本川と同じ余裕高1.0mをとりT.P.=+3.12とし、背水区間より上流では計画高水位に0.8mの余裕高をとる。



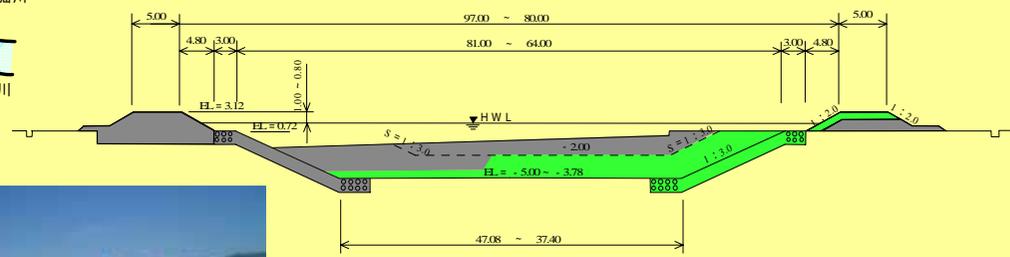
凡 例	
— · — · —	計画堤防高
—	現況左岸
- - -	現況右岸
—	掘削平均河床高
- - -	現況河床高 (最深)
— · — · —	計画高水位 (H.W.L)

朝酌川計画縦断図

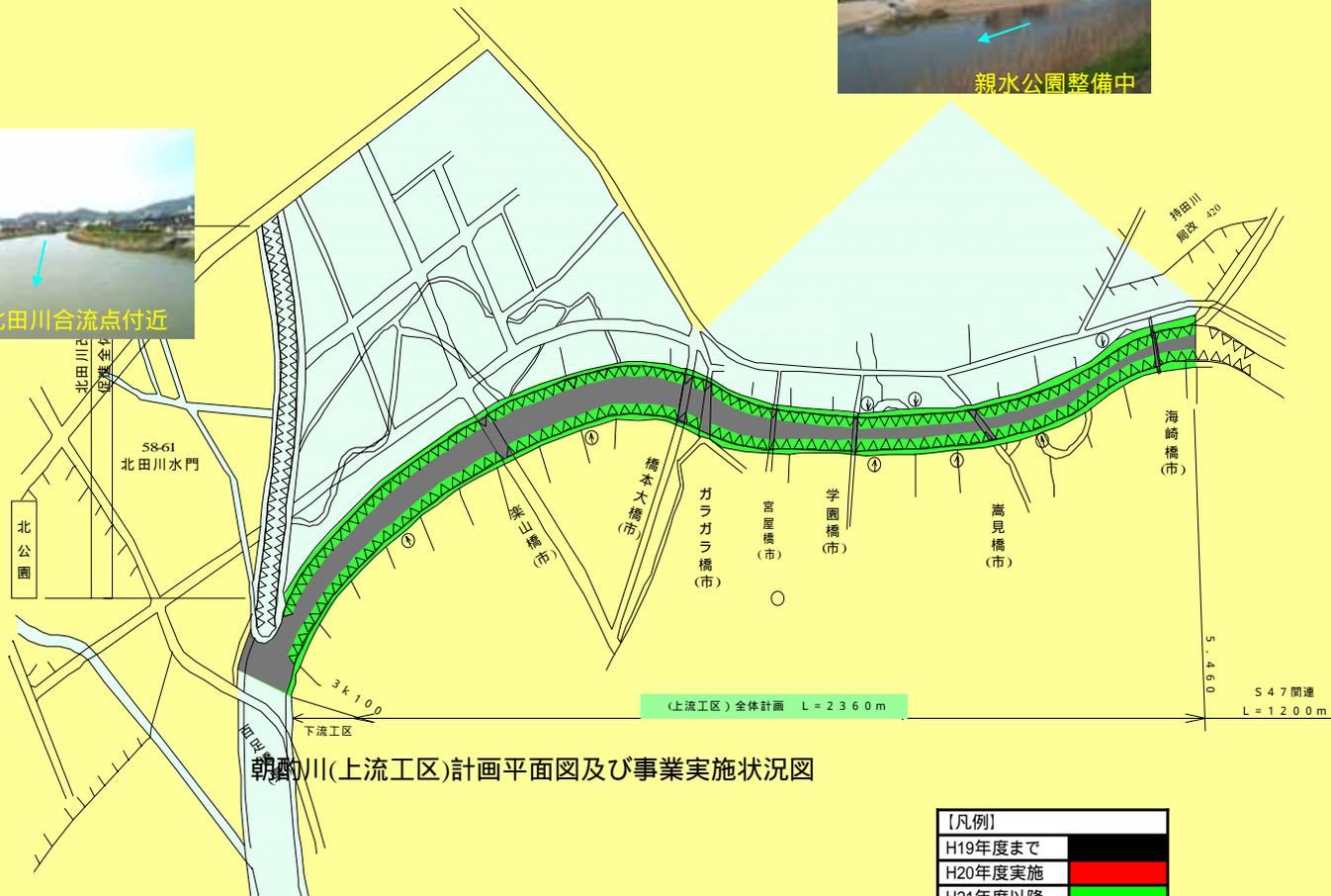
# 朝酌川(2)



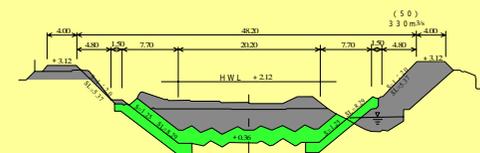
朝酌川(下流工区)計画平面図及び事業実施状況図



朝酌川(下流工区)標準断面図



朝酌川(上流工区)計画平面図及び事業実施状況図

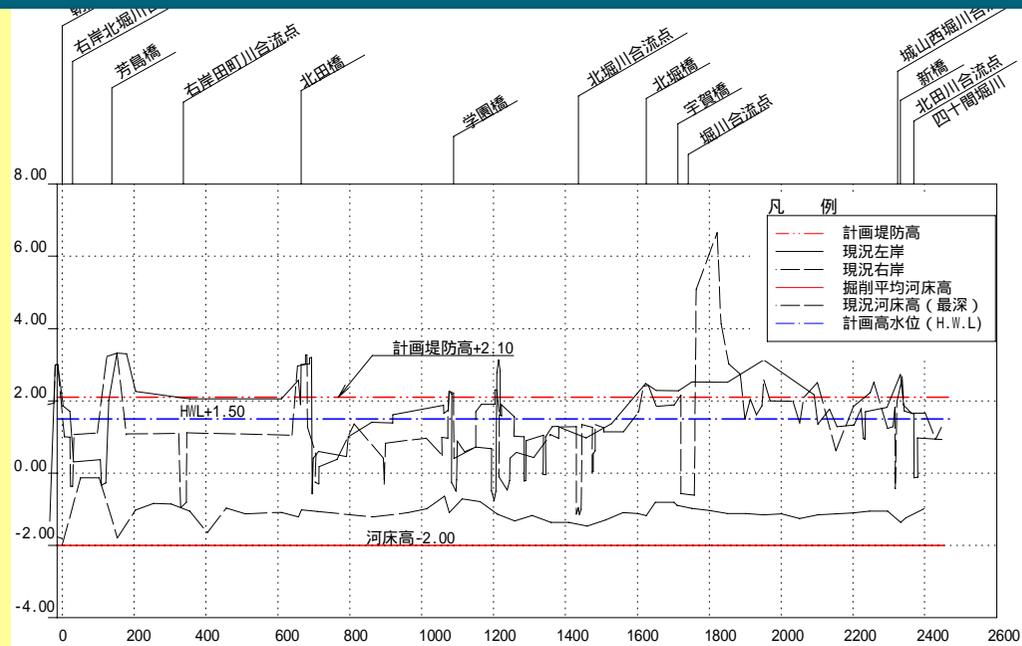
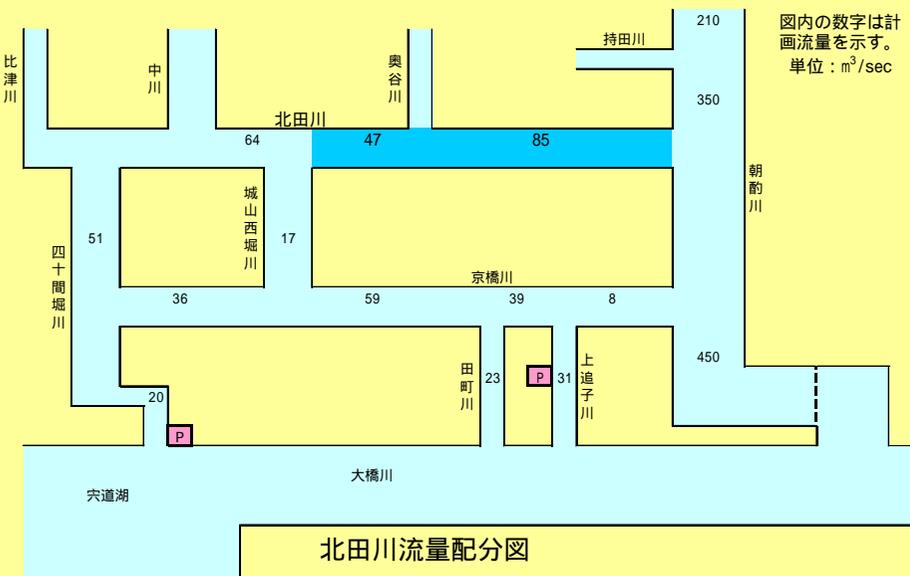


朝酌川(上流工区)標準断面図

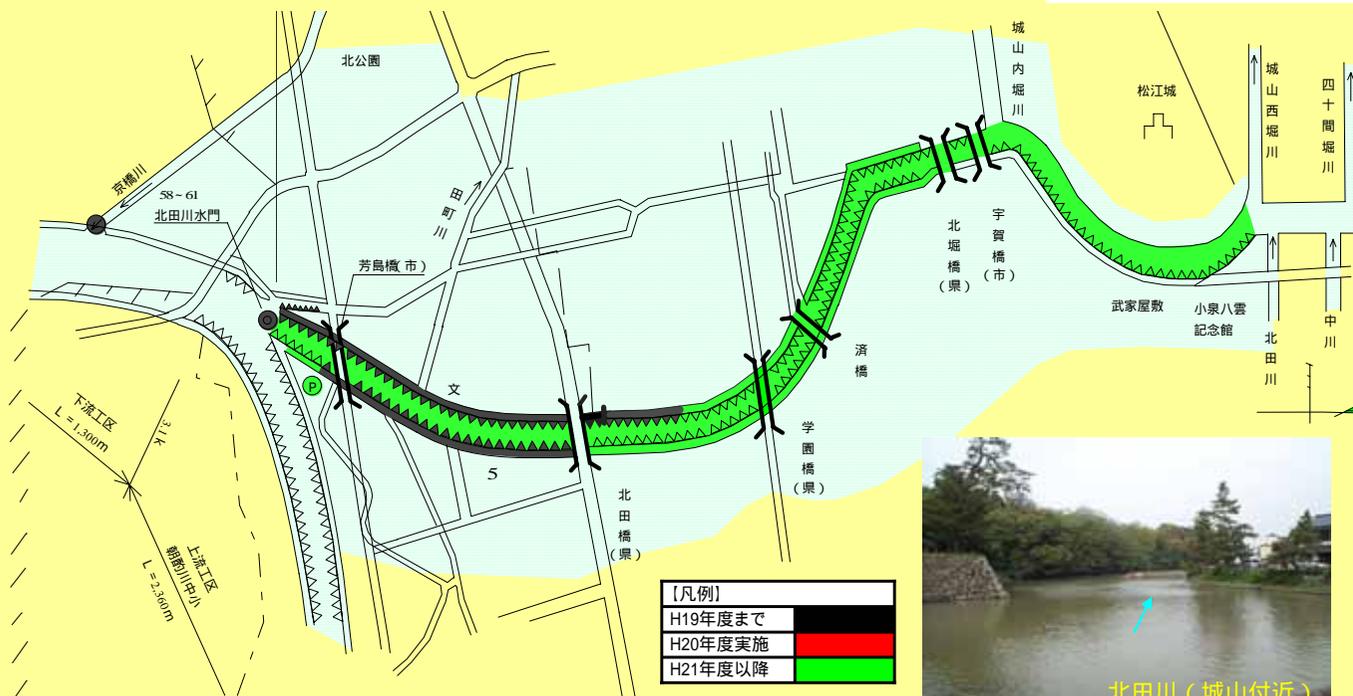


【凡例】	
H19年度まで	黒色
H20年度実施	赤色
H21年度以降	緑色

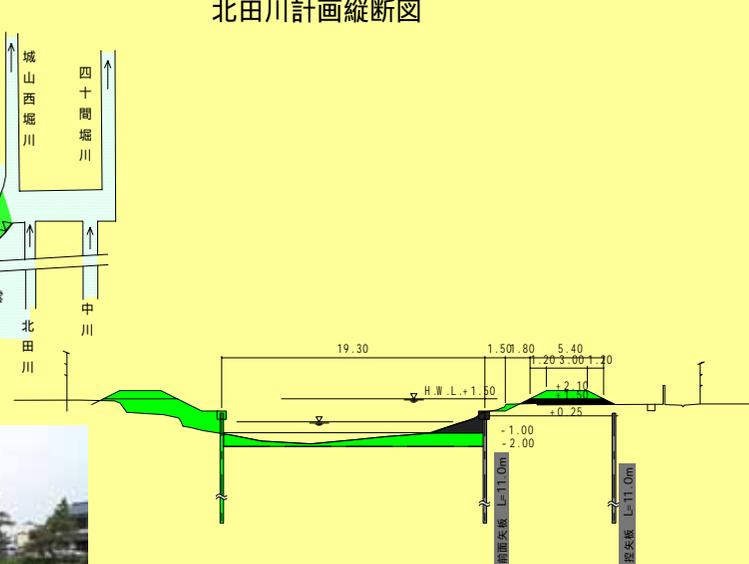
# 北田川



北田川計画縦断面図



北田川計画平面図及び事業実施状況図

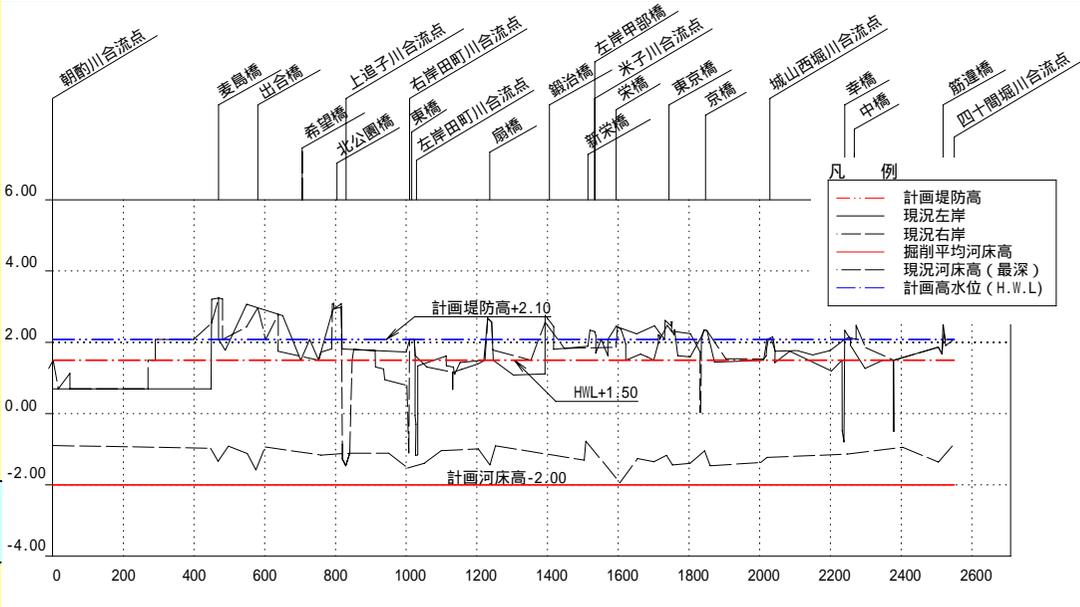
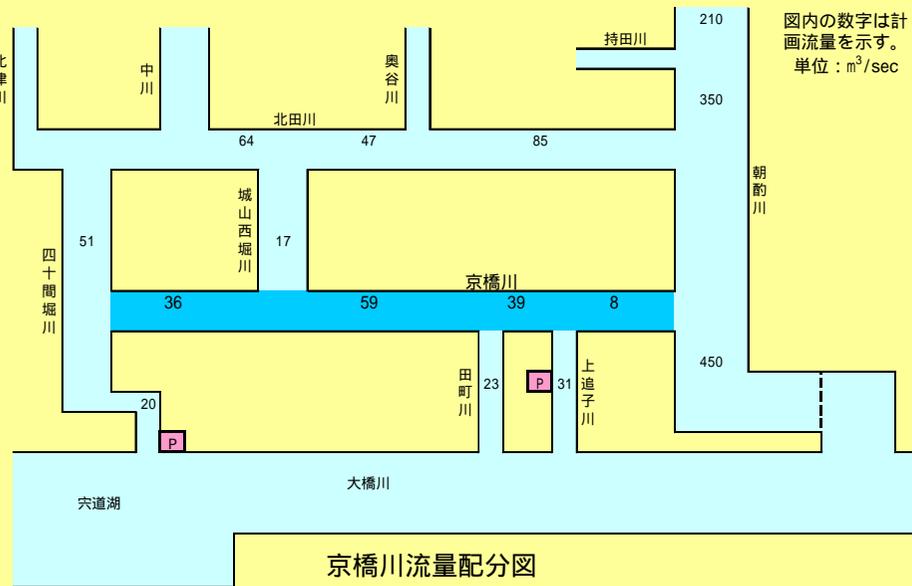


北田川標準断面図

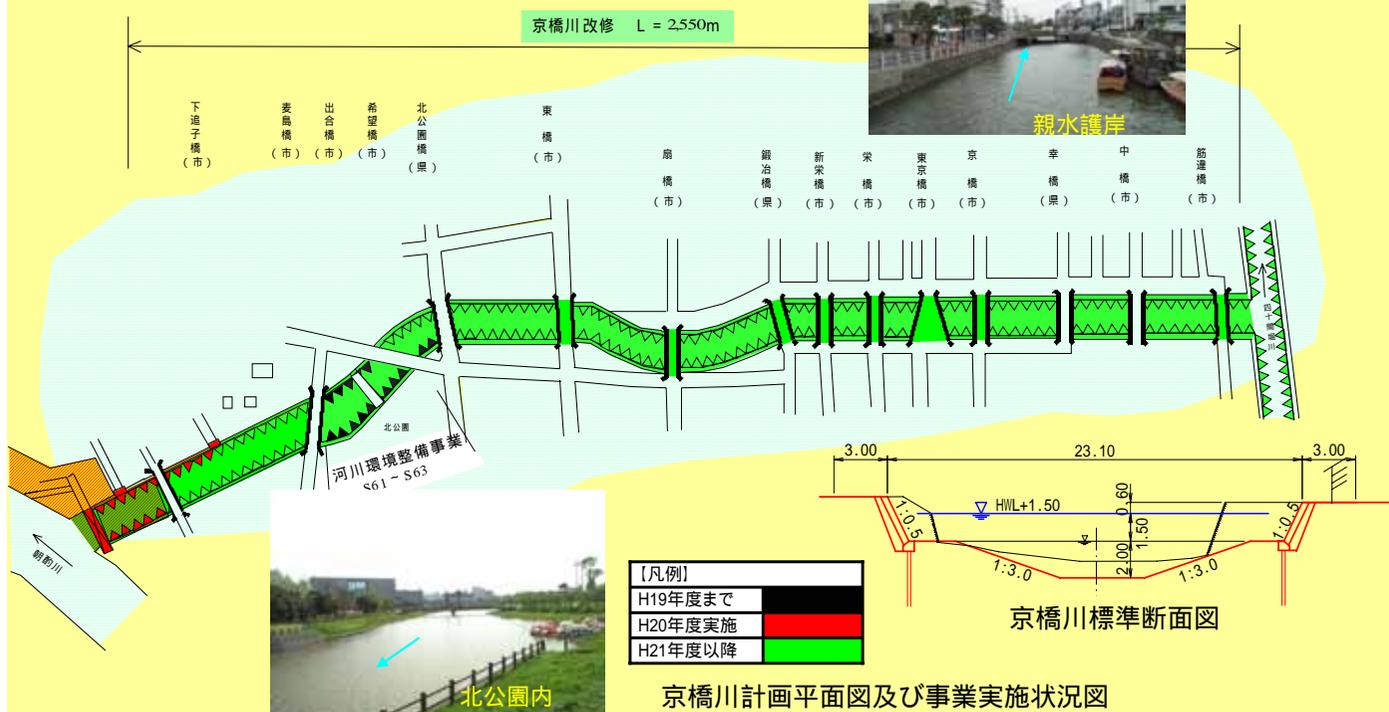


北田川 (城山付近)

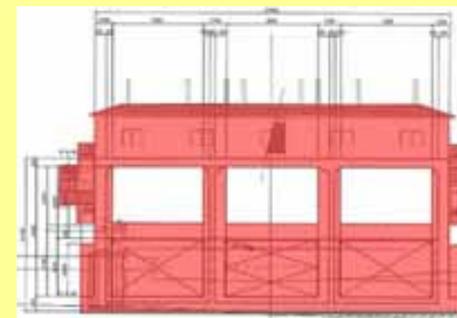
# 京橋川



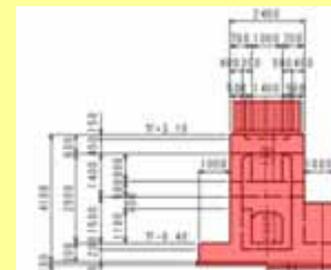
京橋川計画縦断面図



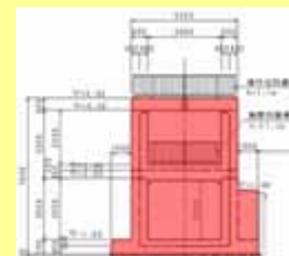
京橋川計画平面図及び事業実施状況図



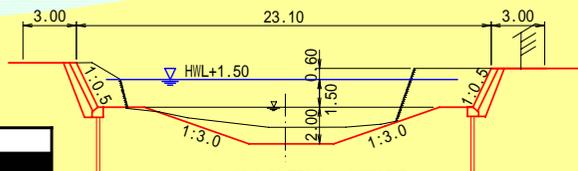
京橋川水門



下流樋門

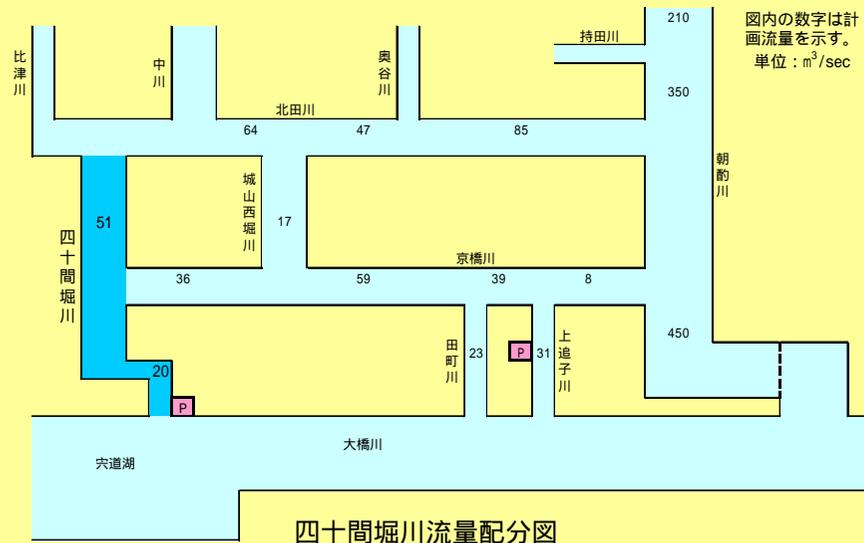


上流樋門

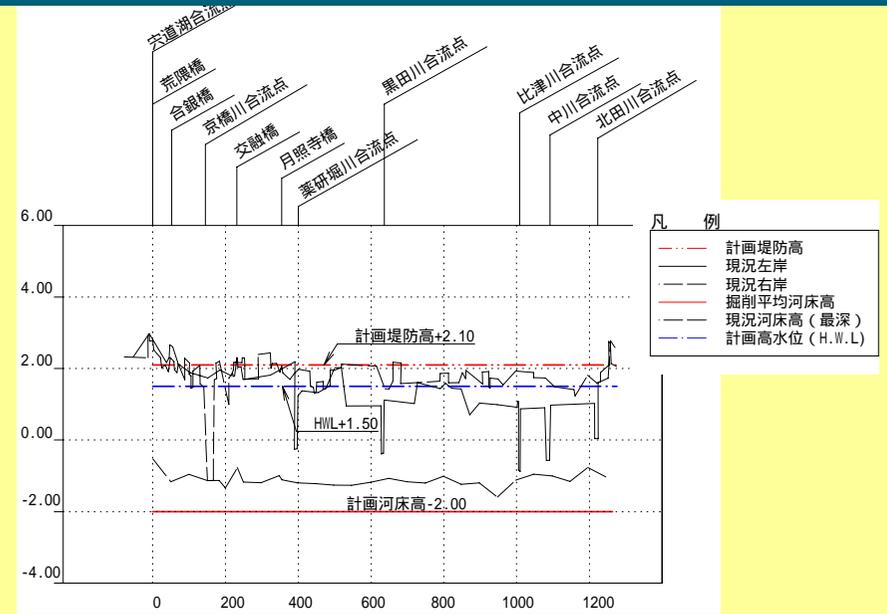


京橋川標準断面図

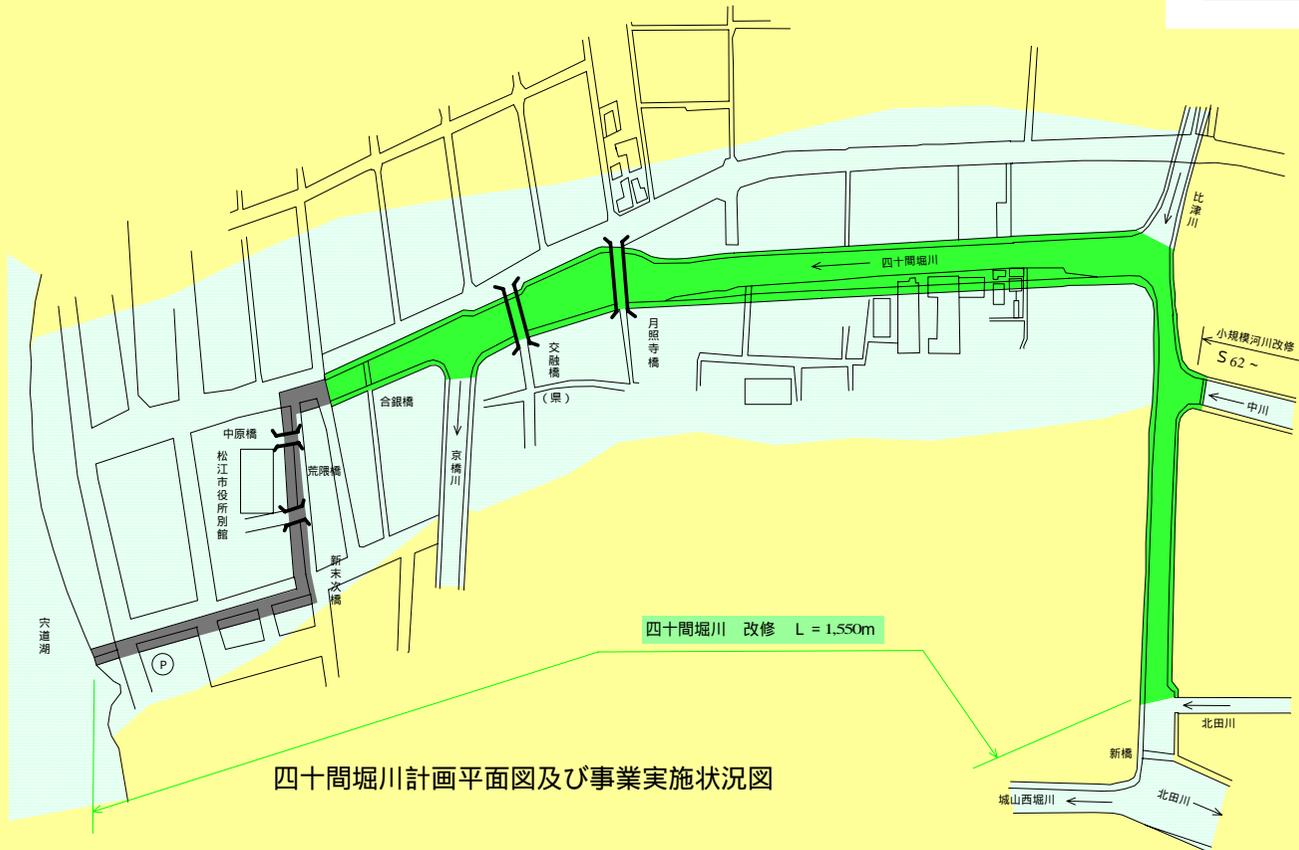
# 四十間堀川



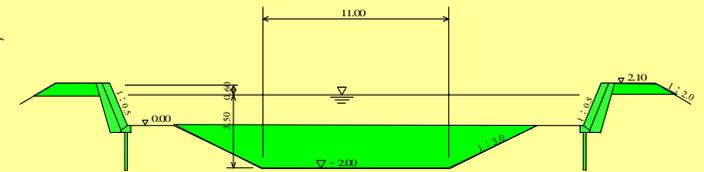
四十間堀川流量配分図



四十間堀川計画縦断面図



四十間堀川計画平面図及び事業実施状況図



四十間堀川標準断面図

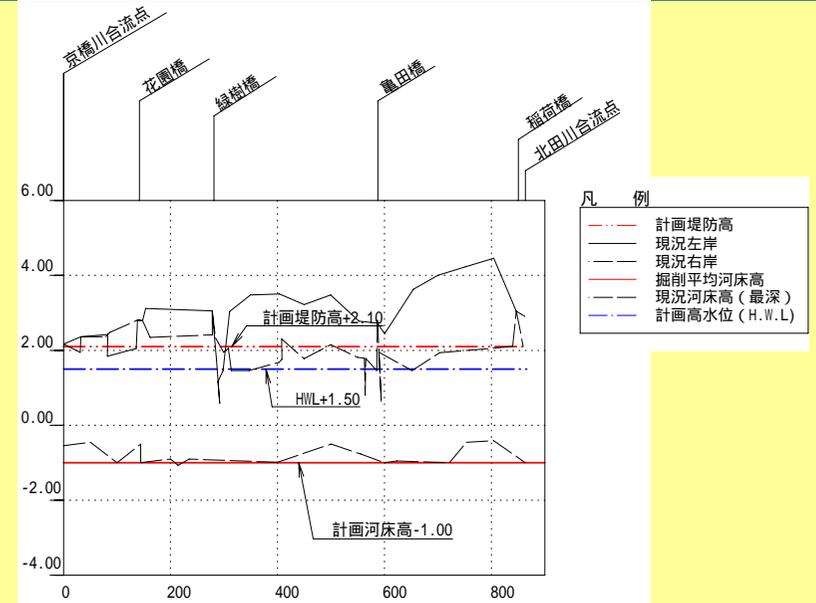
【凡例】

H19年度まで	黒色
H20年度実施	赤色
H21年度以降	緑色

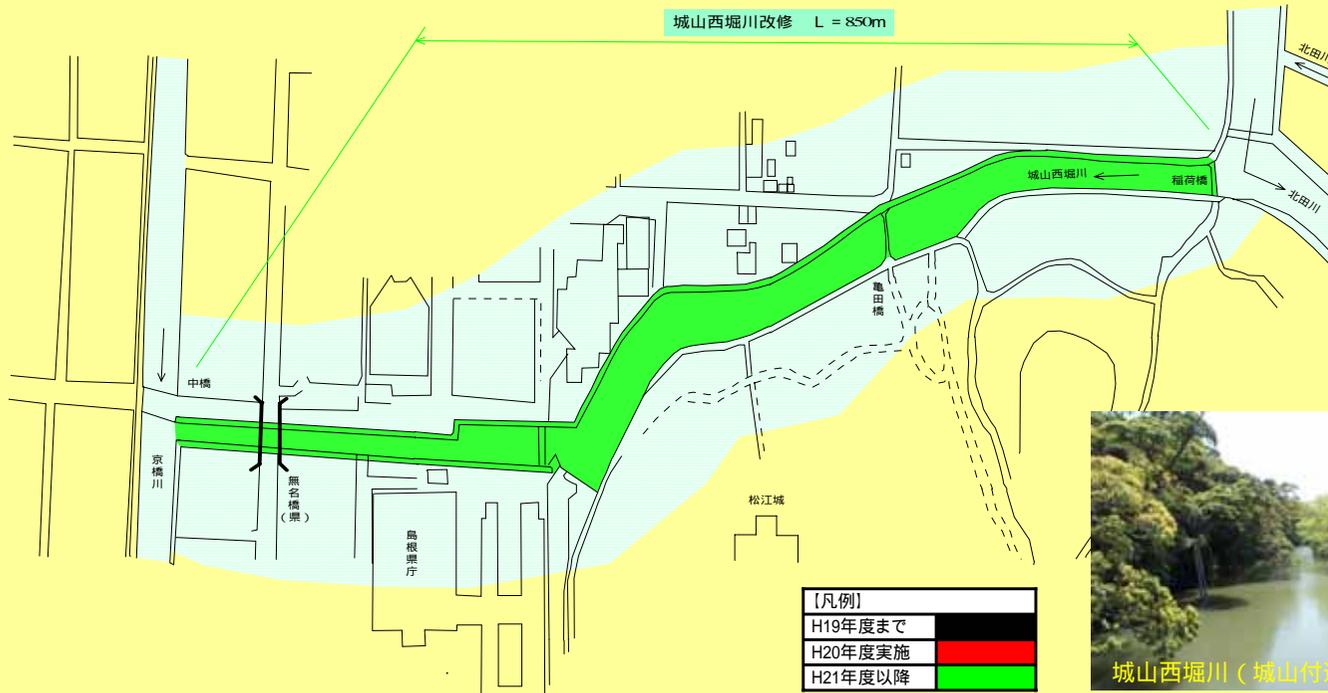
# 城山西堀川



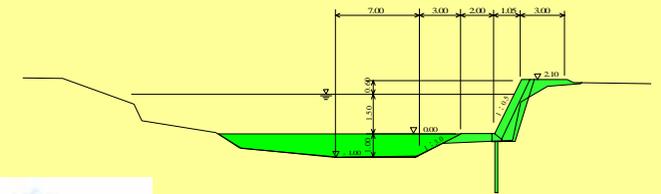
城山西堀川流量配分図



城山西堀川計画縦断面図



城山西堀川計画平面図及び事業実施状況図



城山西堀川標準断面図



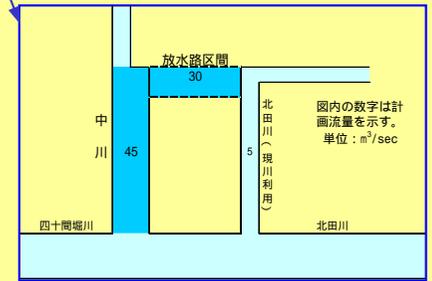
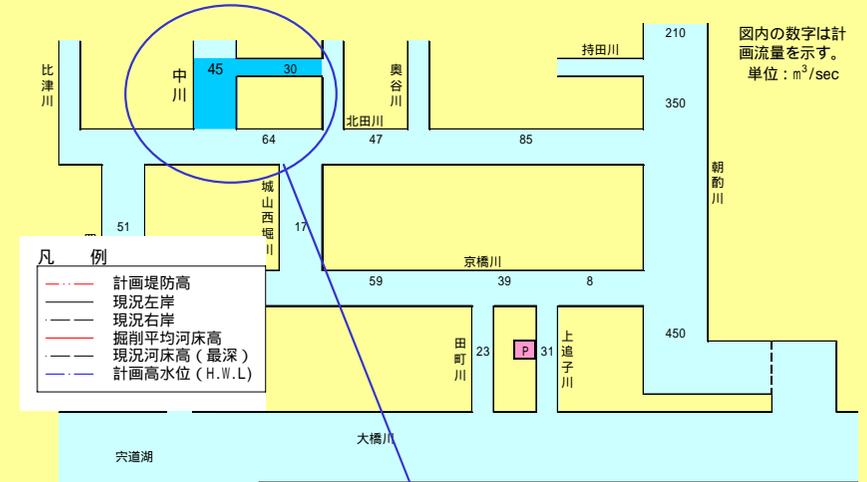
城山西堀川 (城山付近)

【凡例】	
H19年度まで	黒色
H20年度実施	赤色
H21年度以降	緑色

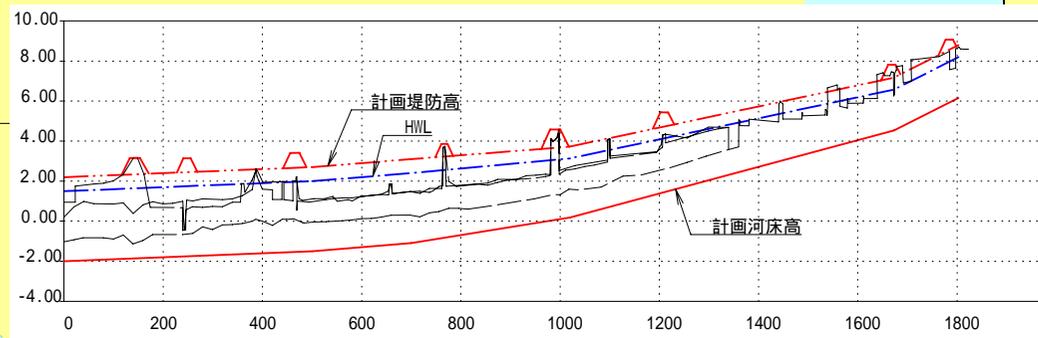
# 中川

## 中川の主な計画方針

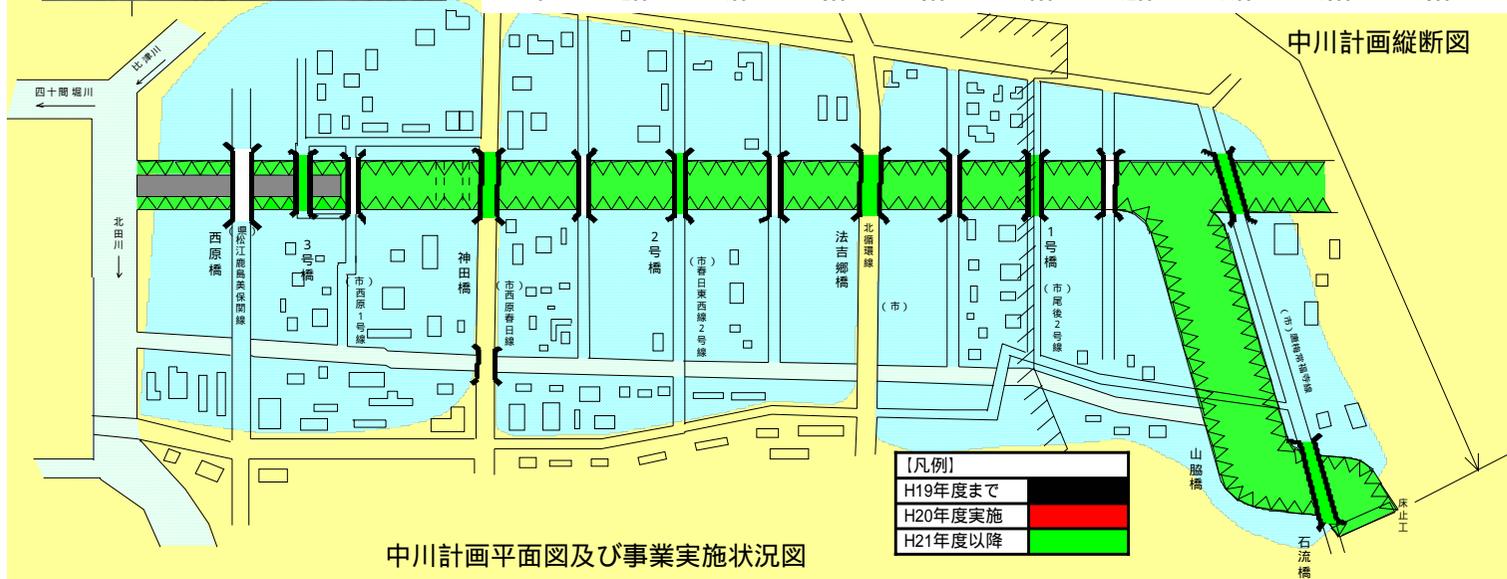
北田川下流連担部の引堤拡幅による改修は出来ないのので、上流部で中川へ放水路を開削し、中川と併せて改修する。なお、放水路から下流の残流域に対する処置は、現況河積で対処する。



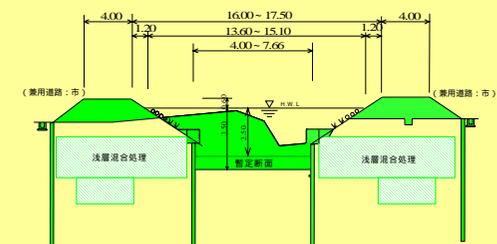
中川流量配分図



中川計画縦断面図



中川計画平面図及び事業実施状況図



中川標準断面図

# 天神川

## 天神川流量配分の考え方

### 自己流計画（宍道湖平均水位の場合）

計画規模 1 / 50

出発水位：出水期の宍道湖平均水位T.P.= + 0.50m（宍道湖側）

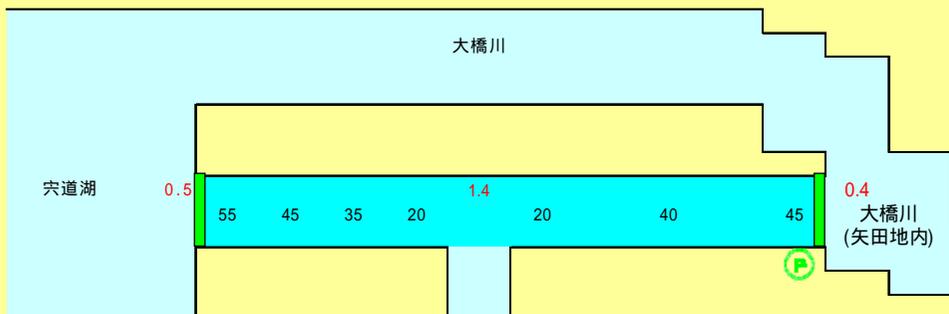
中海側については、宍道湖と中海の平常時の水位差を考慮し

T.P.= + 0.40mとした（S35～S45）

水位計算 不等流計算（分流点と同じ水位になるように）

H.W.L 市内水位がT.P.= + 1.40m以下になるよう設定

計画堤防高 T.P.= + 2.00m



天神川流量配分図

### 自己流計画2（宍道湖水位上昇し、上流水門を閉じた場合）

計画規模 1 / 50

出発水位：大橋川合流点T.P.= + 1.01m（S39.7型降雨時の水位）

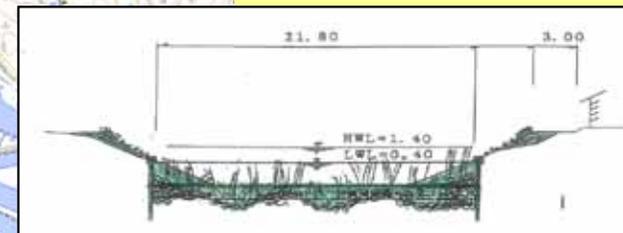
水位計算 不等流計算

H.W.L 市内水位がT.P.= + 1.40m以下になるよう設定

計画堤防高 T.P.= + 2.00m



天神川流量配分図



天神川標準断面図

L = 4,300 m